

特別支援教室だより

令和7年10月6日 第5号
特別支援教室拠点校
府中市立府中第六中学校
校長 佐藤 光宏

新学期が始まってから約一か月が経ちました。気が付けば朝晩は涼しい秋風が吹き、空は高く青く澄んでいる様子から、ますます秋の深まりを感じられるようになりました。9月は、友達と意見を出し合ったり協力して一つのものを作ったりする活動を通して、自分の考えや気持ちを言葉で伝える練習を重ねてきました。お互いの意見を聞いたり、自分の思いを言葉にしたりする経験は、学校生活だけでなく日常の中でも大切な力となります。

お子さんが自分の考えや気持ちを言葉で伝えられるようにするためには、日常の会話が大切です。たとえば「今日一番楽しかったことは?」「どちらがいい?」といった問いかけを通して、自分の言葉で答える経験を積み重ねられます。また、大人が「うれしかったね」「難しかったね」と言葉にしてあげることで、子どもも感情を表現しやすくなります。大切なのは正確さよりも「言葉にして伝えられた」ことを認めてあげることです。小さな一言を受け止める積み重ねが、自信となり学校生活にもつながっていきます。

<小集団の様子>

<二学期の目標・夏といえばブラックジャック>

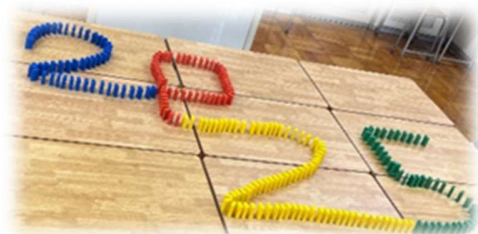
一学期末の反省をもとに、それぞれが自分を見つめ直し、二学期の目標を立てました。見通しを持つことで新しい学期のスタートを切ることができました。活動「ブラックジャック」では、「夏休みに食べたい物」や「夏が嫌いな理由」など身近なテーマをもとに話し合い、合意形成をする経験をしました。楽しそうにランキングを予想する姿が印象的でした。

<かぶらナイス・Yes/No クイズ>

「どうしたら相手に伝わるかな?」をテーマに言葉のやりとりを楽しみました。かぶらナイスでは「人気の果物といえば?」などのお題に対し、イメージを共有しながら全員で答えをそろえました。Yes/No クイズでは質問を工夫し、相手の考えを理解しようとする姿が見られました。自分の言葉で伝える力や、相手の言葉を理解しようとする姿勢が育まれていることを感じました。

<ドミノ>

協力して大きなドミノ作品を作る活動に取り組みました。途中で倒れてしまっても「ドンマイ!」「大丈夫だよ」と前向きな声を掛け合い、最後まで集中して取り組むことができました。分担した部分をそれぞれが責任をもって作り上げ、無事完成させることができました。



<2学期の予定>

10月 6日(月) ~ 後期時間割開始(二・九中)
12月 15日(月) 2学期指導終了
16日(火) ~ 保護者面談

生徒数(令和7年10月6日現在)

府中第二中学校…… 27名
府中第六中学校…… 25名
府中第九中学校…… 13名 合計 65名

